

子ども司書新聞

第7号

10月9日発行

初めてのおはなし会、大成功！



10月9日（日）、子ども司書養成講座第7回の講義が行われました。今回のテーマは「おはなし会をしてみよう」です。前回学んだ読み聞かせを早速実践する機会がやってきました。まずは読む順番、おはなし会のプログラムを考えました。そして、本を読むだけがおはなし会ではないということで、手遊びをやり、おはなし会の時間まで練習です。

おはなし会はあいにくな天気の中、6名の方が参加してくれました。みんな、持ち方、姿勢、間のとり方、声の大きさなど練習した

ことをしっかり意識し、練習よりうまくできていたのではないかなと思います。おはなし会後の反省会では、「楽しかった」や「またやりたい」といった声がありました。認定後は定期的におはなし会を開催するので、ぜひ昨日と今日学んだこと、感じたことを生かしてほしいと思います。

読み聞かせのパワーって？

読み聞かせには①想像力を育てる、②美しいことばを育てるという2つの大きなパワーがあります。

読み聞かせは目の前で聞いてくれる人のために自分の声で心をこめて本を読むというものです。家族が寄り添って読み聞かせすることでスキンシップをとり、ひとり読みでは体験できない満足感、わくわく感、感動を感じることができます。だっこをして、肩をよせあいおはなしを楽しみ、同じ時間を共有するということが心を育てるのです。

第8回 11月26日

図書館に

行ってみよう

次回の講師より

次回の詳しいスケジュールについては後日お手紙を出します。当日は遅刻しないように来てください。



<編集後記>

担当：しも

初めてののおはなし会は大成功だったのではないのでしょうか。おはなし会だけが読み聞かせの場ではないので、兄弟や小さな子にもぜひ読んであげてほしいなと思います。